~令和6年度グッドハーベストコンクール受賞者のトップ技術~

県知事賞 大豆の部(個人) 高畠町 萩原 拓重 氏



萩原農園のみなさん (左2人目:萩原拓重氏)



レーキ式除草機

品種 すずかおり

収量 336.9 kg/10 a

経営面積 26ha (うち大豆 13ha)

Point

適期播種と適正な生育量管理で、大豆の高品質多収を実現

- ・ 出芽・苗立ちをそろえることを第一に①圃場周縁部及び圃場中央部への明渠設 置と、サブソイラによる弾丸暗渠で透・排水性の向上②圃場ごとの土壌条件に 合わせたきめ細やかな耕耘を実施している。
- ・ 基肥は前作の生育状況を踏まえ、「鶏ふん」または「石灰窒素入り化成」から選 択し全層施肥。さらに、播種時の「石灰窒素入り化成」側条施肥により初期生 育量向上を図っている。
- ・ 出芽後はこまめに中耕・培土に入り(レーキ式除草を含め4回)、土壌環境の向 上と雑草の抑制に努めている。
- ・ 開花直前の追肥や、生育過剰な場合は摘芯で適正な生育量に管理している。
- ・ 収穫後は、大豆粒径選別機のほか色彩選別機を通し、必要に応じて手選別を実 施し、高品質な大豆出荷を心掛けている。
- 一部を大豆菓子用として加工販売しているほかは、全量実需者との契約栽培と し、9品種を作付けしている。

~令和6年度グッドハーベストコンクール受賞者のトップ技術~

県知事賞 大豆の部(団体)

河北町 株式会社奥山農園



奥山喜幸 専務取締役

品種 里のほほえみ

収量 306kg/10a

経営面積 58ha (うち大豆 14.8ha)

Point 基本技術の徹底と畝間かん水で、高品質・高収量を確保!

- ブロックローテーションを実施することで地力を維持するとともに、畑雑草の 蔓延を防止している。
- ・ 圃場ごとの土壌条件に合わせて、額縁明渠等の排水対策を実施し、出芽・苗立ちを安定させている。
- ・ 基肥に発酵鶏ふんを用いることで、地力の維持・向上に努めるとともに、肥料 費の削減を行っている。
- ・ 中耕を1回、培土を2回実施することで、雑草の抑制、排水性の向上、収穫ロスの低減に努めている。
- ・ 開花期の高温乾燥時には、畝間かん水を実施し乾燥ストレスを低減させること で、着花率を向上させ、収量・品質を高めている。

~令和6年度グッドハーベストコンクール受賞者のトップ技術~

県知事賞 そばの部(個人) 鶴岡市 齋藤 和博 氏



齋藤 和博 氏

品種 (常陸秋そば)

収量 87.7kg/10a

経営面積 13ha (うちそば 1.6ha)

Point

条播栽培による出芽苗立ち安定、収量確保

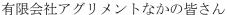
- ・ 新たに導入した条播機により、全ての圃場で安定した出芽苗立ちを確保できている。
 - また、今後の経営面積増に対応した安定生産が可能となっている。
- 額縁明渠施工による排水対策を徹底し、湿害を回避している。
- ・ 前年の生育や収量、地力等を考慮して施肥量を決定している。

~令和6年度グッドハーベストコンクール受賞者のトップ技術~

県知事賞 そばの部(団体)

飯豊町 有限会社 アグリメントなか







圃場の様子

品種 山形BW5号

収量 91.7kg/10a

経営面積 85ha (うちそば 20.5ha)

Point

適期刈取と丁寧な乾燥調製で実需が求めるそば作り

- ・ 圃場を団地化し、作業の効率化を図っている。
- ・ 堆肥の連用により、地力の維持と土壌の物理性の改善に努めている。
- プラウによる深耕で根域を確保し、生育量確保と子実の充実を図っている。
- ・ ドリル播きにより圃場全体の出芽安定を図っている。
- ・ 「山形BW5号」を作付けし、2段階乾燥と温度管理の徹底による丁寧な乾燥 調製を行うことで品質向上に努め、実需が求めるそばづくりを行っている。

~令和6年度グッドハーベストコンクール受賞者のトップ技術~

県知事賞 飼料用米の部(個人)

酒田市 柿崎 助一郎 氏



柿崎 助一郎 氏

品種 ふくひびき

収量 801.8kg/10a

経営面積 3.8ha (うち飼料用米 0.6ha)

Point

生育状況に合わせた適期・適量の穂肥で収量を確保

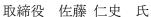
- ・50 株/坪の疎植栽培で倒伏を回避している。
- ・浅水管理や土壌の異常還元防止のための水交換・田干しを実施し、初期茎数の確保に努めている。
- ・有効茎確保後は速やかに中干しを実施し、生育調節と登熟根の伸長を図っている。 作溝も併せて実施することで中干しの効果が高まり、登熟期間の水管理も効率的 に行うことができる。
- ・登熟向上のため、生育診断に基づいた適期・適量の穂肥を実施している。令和6年は生育状況を判断し出穂10日前に窒素成分2kg/10aの穂肥を実施した。

~令和6年度グッドハーベストコンクール受賞者のトップ技術~

県知事賞 飼料用米の部(団体)

飯豊町 株式会社グランファーム I I D E







圃場の様子

品種 ふくひびき

収量 763kg/10a

経営面積 14.6ha (うち飼料用米 4.9ha)

Point

耕起深と団粒構造を確保した土壌環境づくりで安定多収 を実現

- ・ スタブルカルチを使用し、耕起深の確保に努めている。
- ・ 代かきをし過ぎず土の団粒構造を確保しながら、根の活力維持を図っている。
- ・ 鶏ふん等有機物を継続して施用し、土づくりに取り組んでいる。
- ・ 一発肥料の側条施肥により初期生育を確保している。
- GPS 機能搭載の田植え機やトラクター、ドローンを導入するなどスマート農業 に積極的に取組んでおり、作業の効率化を図っている。
- ・ 圃場毎の地力を考慮した肥培管理を行い、低コスト多収栽培を実現している。